

2025年10月30日

日清製粉グループ 第2四半期(中間期)連結決算、通期連結業績予想

当中間期は営業利益・経常利益は減益。中間純利益(親会社株主帰属)は政策保有株式縮減が進捗するも、インドイースト事業での減損損失計上により減益。

通期業績予想は下方修正も、営業利益は前年水準を上回る見込み。増配見通しは変更なし。株主還元の更なる充実のため200億円を上限とする自己株式の取得を決定。

[2026年3月期中間連結会計期間決算]

売上高	4,313億10百万円	(前年同期比 100.4%)
営業利益	226億33百万円	(前年同期比 87.0%)
経常利益	247億88百万円	(前年同期比 91.5%)
親会社株主に帰属する 中間純利益	103億25百万円	(前年同期比 50.7%)

(株)日清製粉グループ本社(取締役社長:瀧原 賢二)の2026年3月期中間連結会計期間の業績につきましては、売上高は、海外製粉事業における小麦相場の下落や為替換算の影響等があったものの、エンジニアリング事業における大型工事の増加や酵母・バイオ事業、及び中食・惣菜事業等の販売が堅調に推移し、4,313億10百万円(前年同期比100.4%)となりました。利益面では、国内製粉事業における水島工場稼働に伴う立上げ費用の発生、海外製粉事業での出荷減及び為替換算の影響等による減益、加工食品事業におけるコスト上昇等の影響、及びメッシュクロス事業における出荷減等により、営業利益は226億33百万円(前年同期比87.0%)となりました。親会社株主に帰属する中間純利益は、政策保有株式の縮減を進めたものの、インドイースト事業の減損損失の計上により、103億25百万円(前年同期比50.7%)となりました。

[2026年3月期通期連結業績予想]

売上高	8,700億円	(前期比 102.2%)
営業利益	470億円	(前期比 101.3%)
経常利益	500億円	(前期比 101.6%)
親会社株主に帰属する当期純利益	300億円	(前期比 86.5%)

2026年3月期の連結業績予想につきましては、インドイースト事業における減損損失計上のほか、海外製粉事業、加工食品事業及びメッシュクロス事業での業績回復の遅れ等により、本年5月15日に公表した当初の予想を修正しております。これら各事業においては、事業環境を踏まえ、上期より拡販、価格改定及びコスト削減等の改善策を進めており、下期にその効果が発現することで、営業利益・経常利益は通期では増益を見込んでおります。

また、当期の配当につきましては、当初の予定通り前期より5円増額の1株当たり年間60円を予定しております。

[200億円を上限とする自己株式の取得を決定]

株主還元の更なる充実と資本効率の向上、経営環境を踏まえた資本政策の遂行のため、株式の取得価額の総額200億円、株式の取得総数1,500万株(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合5.18%)を上限とする自己株式の取得(信託方式による市場買付による)を行います。詳細につきましては、本日公表の「自己株式取得に係る事項の決定に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上